

ぎふけん 自動車会議所だより

発行所
一般社団法人
岐阜県自動車会議所
岐阜市日置江2648番地の2
電話(058)279-3701
毎月20日発行

見つけてね
ピカピカばくの
はんしやさい

ひだ舟山リゾートアルコールピア啓発活動

10月19日(土)、岐阜県自動車会議所は高山市のひだ舟山リゾートアルコールピアで開催された全日本ラリー選手権の会場で啓発活動を実施した。

のりものフェスタin たかやま

岐阜県自動車会議所は令和6年10月26日(土)に高山駅西交流広場に開催された「のりものフェスタinたかやま」に一般社団法人岐阜県自動車整備振興会、岐阜県自動車短期大学と共同で出展し、啓発活動を実施した。

「根本的な自動車税制の見直しを」 JAF岐阜支部街頭活動を実施

11月6日JAF岐阜支部(加藤元康支部長)は、自動車総連、岐阜県自動車販売店協会、岐阜県自動車会議所と協力してJR岐阜駅北口デッキで、全国各地で実施している税制改正活動を実施した。

当日は、「根本的な税制の見直し」ののり旗を掲げ、税制改正の要請活動に関するQRコードを入れたグッズ600個を用意し、通勤・通学途中の会社員や学生などに「税金の負担感や不合理さ」や「クルマの税金の見直し」などを訴えた。

今後、11月中旬まで全国各地の街頭やクルマ関連のイベント会場等で活動を実施し、併せて風船と反射材を手渡して交通安全を呼び掛けた。

鶉保育園交通安全啓発活動

岐阜県自動車会議所

岐阜県自動車会議所は、10月22日(秋)の交通安全県民運動(9月21日~30日)の一環として、岐阜市中鶉にある鶉保育園(私立)で交通安全啓発活動を行った。

春の全国交通安全運動、夏の交通安全県民運動に続き、今回で3回目となるが、交通安全の正しいルールを定着させるため、今までの安全教育の復習と更なる「自転車利用者のヘルメット着用と安全確保」の推進を図るため、主にヘルメットの着用をポイントに、着用の意識づけと正しい装着の仕方を説明した。

園内のお遊戯室に道路、信号機、横断歩道、止まれ等のジオラマを作成し、キックバイクや玩具の車を使用して、信号の確認、一旦停止での注意、横断歩道での安全確認を、楽しく学んでもらえるよう創意工夫をし、一緒に体験をした。

また、秋冬は日没以降の交通事故が多発することもあり、アニメリフレクター(反射材)の啓発グッズ等も配付した。

現在も、キックバイクによる事故が発生しているが、最後に先生から全園児に向けて「バイクに乗る時は、必ずヘルメットを着用すること。ヘルメットは頭を守るため硬い

物、サイズがぴったり、物、紐はカッチとい音がするようにしっかりと止めること」と本日の教育を再度確認し、良い体験学習が出来たと喜んでいただいた。今回の活動を通して、園児たちの標識や信号等の認識が高くなっていくことが感じられた。

また、全国からモーターサイクルファンが集まるなかで交通安全啓発や希望ナンバー申込体験を行い、多くの体験者からは図柄ナンバーの予約方法などの質問が寄せられた。また、ラリーが中断されたが、ラリーが中断されたのは全国各地で開催されることから地域活性化や若年層がクルマに親しむ機会として期待されており、今回初めての参加となる。

当日は終日雨天でしたが、全国からモーターサイクルファンが集まるなかで交通安全啓発や希望ナンバー申込体験を行い、多くの体験者からは図柄ナンバーの予約方法などの質問が寄せられた。



「年末を、無事故で過ごしよ!」の精神を、実践することにより、交通安全の防止を図ることを目的とする。

運動の重点と主な推進項目は次の通り。

①運動の重点1
夕暮れ時以降の交通事故防止、飲酒運転等による悪質・危険な運転の根絶、歩行者、特

②歩行者・自転車利用者の交通事故防止
③街頭活動の強化
薄暮時間帯の午後4時から午後6時までの間に交通事故が多発する傾向にあり、車の運転をするときは、日没30分前の早めのライト点灯、ハイビーム(走行用前照灯)とロービーム(すれ違い用前照灯)を上手く使い分け、歩行者や自転車を早期に見つける。また、歩行者・自転車利用者は、目立つ色の服や反射材を身につけて、運転者に分かるようにする。

④運動の重点2
子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保
①横断歩道における歩行者最優先の徹底
②子どもの交通ルール遵守の徹底
③高齢者に対する交通安全教育の推進

⑤運動の重点3
飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶
①飲酒運転を許さない環境づくり
②妨害運転の根絶に向けた啓発の推進
③忘年会の時期でもあり、地域・職場等が一体となり「飲酒運転をしない、させない、許さない」の環境づくりを推進する。

⑥運動の重点4
自転車等利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
①自転車利用者のヘルメット着用と安全確保
②自転車の交通ルール遵守の徹底と新たなルールの周知
③特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
④自転車は原則車道通行、車道は左側通行など、交通ルールの周知と遵守の徹底を図る。道路交通法に基づき、全ての自転車、特定小

令和6年 年末の交通安全 県民運動

令和6年12月11日(水)20日(金)までの10日間「年末を、無事故で過ごしよ!」の精神を、実践することにより、交通安全の防止を図ることを目的とする。

運動の重点と主な推進項目は次の通り。

①運動の重点1
夕暮れ時以降の交通事故防止、飲酒運転等による悪質・危険な運転の根絶、歩行者、特

②歩行者・自転車利用者の交通事故防止
③街頭活動の強化
薄暮時間帯の午後4時から午後6時までの間に交通事故が多発する傾向にあり、車の運転をするときは、日没30分前の早めのライト点灯、ハイビーム(走行用前照灯)とロービーム(すれ違い用前照灯)を上手く使い分け、歩行者や自転車を早期に見つける。また、歩行者・自転車利用者は、目立つ色の服や反射材を身につけて、運転者に分かるようにする。

④運動の重点2
子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保
①横断歩道における歩行者最優先の徹底
②子どもの交通ルール遵守の徹底
③高齢者に対する交通安全教育の推進

⑤運動の重点3
飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶
①飲酒運転を許さない環境づくり
②妨害運転の根絶に向けた啓発の推進
③忘年会の時期でもあり、地域・職場等が一体となり「飲酒運転をしない、させない、許さない」の環境づくりを推進する。

⑥運動の重点4
自転車等利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
①自転車利用者のヘルメット着用と安全確保
②自転車の交通ルール遵守の徹底と新たなルールの周知
③特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
④自転車は原則車道通行、車道は左側通行など、交通ルールの周知と遵守の徹底を図る。道路交通法に基づき、全ての自転車、特定小



型原動機付自転車の利用の際は、ヘルメット着用の努力義務を周知する。令和6年11月1日施行の道路交通法の一部改正による「自転車」のなからスマホ、酒気及び運転は罰則強化」を周知する。また、自転車損害賠償責任保

険等への加入義務や乗車前には必要な点検整備を行うことを啓発する。

岐阜県の新車販売台数(速報値)

10月の新車登録台数 岐阜県自動車販売店協会

Table with columns: 会社名, 月別, 10月台数, 前月台数, 前対比%, 前年同月台数, 前年同月対比%. Lists various car companies like Toyota, Daihatsu, Honda, etc.

※ネットトヨタはトヨタローラと2023年1月1日付で合併し、トヨタローラネット岐阜に社名変更されました。(2022年度の台数につきましては、旧トヨタローラ岐阜と旧ネットトヨタを合算して記載しております。)

10月の軽自動車新車届出台数 岐阜県軽自動車協会

Table with columns: 車種, 車名, 10月台数, 前月台数, 前対比%, 前年同月台数, 前年同月対比%. Lists light vehicle models like Suzuki, Honda, Daihatsu.

10月の全国新車販売(ブランド別)

Table with columns: メーカー, 10月, 前年同月, 前年同月対比%. Lists national car sales by brand like Toyota, Honda, Nissan.



日本自動車会議所(内山田竹志会長)は、「2025年度税制改正に関する要望書」を取りまとめ、関係省庁へ説明、提出した。

税制改正要望書提出 日本自動車会議所

社会的受益者の拡大を踏まえ、負担軽減・簡素化を前提に、受給と負担の関係を再構築し、自動車ユーザーが納得のいくよう税体系を抜本的に見直すべきである。

元々は道路特定財源として道路整備のために自動車ユーザーが特別に負担してきたものが、2009年度に一般財源化されたことにより課税根拠を喪失している。

1. 車体課税の見直し ①少なくとも50年以上も続いている自動車重量税の旧暫定税率である「当分の間税率」の廃止

2. 燃料課税の見直し ①ガソリン税、軽油引取税に上乗せされた「当分の間税率」の廃止

3. 租税特別措置の延長 ①ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシー等のバリアフリー車両

4. 第一種原動機付自転車における車両区分の改正に伴う同区分に係る軽自動車税の見直し

5. 動力を持たない被牽引車(トレーラー)への環境性能割の課税は即刻廃止

6. 営業用自動車の軽減措置の維持 営業用自動車は、日本経済や国民生活を支える物流・公共輸送の一翼を担っており、特に災害時には緊急物資

